

## 令和3年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 31 軌道修繕費	所属: 上永谷保守管理所 担当者: 平塚、坪井

(単位: 千円)

	3年度 A	2年度 B	増△減(A-B)
予算額	30	30	0

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

(単位: 千円)

【事業内容】	3年度予算額
1 軌道修繕費 材料費	30
(1 事業目的・内容) 軌道施設の部材を購入する費用。	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	

## 令和3年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 31 軌道修繕費	所属: 新羽保守管理所 担当者: 本間 匠

(単位:千円)

	3年度 A	2年度 B	増△減(A-B)
予算額	30	30	0

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
1 軌道修繕 部品材料施設区	30
(1 事業目的・内容) 緊急の軌道修繕に必要な部品・材料を購入するための新羽保守管理所長に前渡する資金。	
(2 前年度から変更・見直した点) なし	
(3 根拠法令・規程、「現場の意見」等) 前渡資金があれば、速やかに部品・材料を購入し修繕作業を行える。	

## 令和3年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 31 軌道修繕費	所属: 川和保守管理所 担当者: 今野・阿部

(単位:千円)

	3年度 A	2年度 B	増△減(A-B)
予算額	30	30	0

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
1 軌道修繕 部品材料	30
(1 事業目的・内容) 緊急の軌道修繕に必要な部品・材料を購入するための小額物品費	
(2 前年度から変更・見直した点) なし	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等) 局の小額物品制度による	

## 令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 31 軌道修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 施設課 担当者: 内田、甲州

(単位:千円)

	3年度 A	2年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	921,356	914,286	7,070

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	3年度予算額
1 材料補充	223,510

## (1 事業目的・内容)

- (1)レール交換事業分 購入  
令和3、4年度レール交換事業で使用するレール、接着絶縁を購入します。  
購入時期を調整し、債務負担を設定しています。
- (2)締結装置交換事業分 購入  
令和3、4年度締結装置交換事業で使用する締結装置を購入します。
- (3)上永谷分岐交換事業分 購入  
上永谷車両基地分岐器交換事業分の7番片開き分岐器(#84)を購入します。
- (4)軌道用品一式 購入  
分岐器部品の予備材や、直営作業用の継目板や犬釘といった軌道用品を購入します。

## (2 前年度から変更・見直した点)

令和3年度のマクラギ購入は行いません。

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## (4 年次表)

	2年度予算	3年度予算	4年度予定	5年度予定	6年度以降	総 額
事 業 費	215,171	223,510				
債務負担設定	61,023					

## 令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 節・細節：31 軌道修繕費	所属：施設課 担当者：内田、岩崎
項：01 営業費用 目：10 線路保存費	

(単位：千円)

【事業内容】	3年度予算額
2 軌道整備	208,809

## (1 事業目的・内容)

列車の走行により、バラスト道床に繰り返し荷重がかかります。すると、軌道に変位が生じ、そのまま放置しておくと、軌道部材(レール等)の歪みや劣化が早くなり、列車走行に支障をきたす恐れがあるばかりでなく、軌道材料の交換周期が短くなることとなります。そこで、軌道の変位を元に戻すことにより、列車走行の安全及び軌道の維持を図ります。

## ・軌道整備工Ⅰ(マルタイによる突き詰め整備) 7,103m

軌道整備工Ⅰの施工区間には、急曲線部分で定期的(3年毎)に施工する区間と、10年計画にて全線の突き詰めを完了させる区間及び軌道検測データ等により施工を決定する区間があります。  
急曲線部分は、関内～桜木町駅間、三ツ沢上町～新横浜駅間の上下線になります。

## ・軌道整備工Ⅱ(人力による突き詰め整備) 2,254m

軌道整備工Ⅱの施工区間には、新羽及びセンター北駅に敷設されている分岐器周り区間の突き詰め(2年及び8年周期)及び、関内～伊勢佐木長者町駅間の急曲線(R125)区間があります。

## ・軌道整備工Ⅲ(車両基地人力による突き詰め整備) 1,367m

上永谷車両基地の4年及び9年周期と軌道状態により施工を決定する区間があります。

## ・排水溝清掃工 2,468m

軌道の道床排水溝に滞積した遊離石灰や粉塵等による排水不良は、悪臭等の原因となり駅の環境を悪化させるほか、溢れた排水により軌道が浸水する恐れがあることから、清掃を行います。

## ・道床清掃工 1,160m

軌道の道床に滞積した綿埃等による発煙や発火事故を抑止するほか、塩害による軌道材料の劣化防止やトンネル内部の環境を改善するため、清掃を行います。

## ・道床及びまくらぎ交換工 1式

上永谷～下永谷駅間及び新羽～仲町台駅間の曲線部において、道床碎石(バラスト)の劣化により軌道変位を誘発する原因となっていることから交換するほか、継目部の軌道が落込んで道床やまくらぎの劣化が進行している箇所について、交換を行います。

## (2 前年度から変更・見直した点)

計画分の調整や現場の状況により、列車の安全運行に係るものを最優先とした。

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道土木実施基準、軌道整備心得、線路検査心得

令和3年度 修繕費 事業計画書

款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 31 軌道修繕費	予算科目 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費	担当 所属: 施設課 担当者: 内田、難波
---------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------

(単位: 千円)

【事業内容】	3年度予算額
3 レール交換	300,957

(1 事業目的・内容)

●レール交換

- ①レール交換の長期計画に基づき、レールの交換を行います。(2829sm)
  - ・上り 関内～長者 718sm      ・下り 弘明寺～上大岡 776m      ・上り 新羽～仲町台 1335sm
- ②直営による巡回点検やレール検査等により損傷等が確認されているレールの交換を行います。(3192sm)
  - ・上り 弘明寺～上大岡 674m      ・下り 蒔田～弘明寺 1066sm      ・上り 上大岡～港南中央 504sm
  - ・上り 吉野町～蒔田 425sm      ・上り 仲町台～七南 523sm
  - ・レール溶接
- ③ 横浜三ツ沢下町(上下)軌道改良工事のレール交換工事  
令和3年度施工1711sm

●埋込栓補修工 50か所

〈事業費内訳〉

(千円)

レール交換事業 工事費	単価	数量	単位	金額
①②レール交換工		1	式	
レール溶接		1	式	
埋込栓補修工		50	か所	
軌道工事諸経費				
軌道工事計				
電気工事(諸経費含む)				
①②計				
③横浜三ツ沢下町(上下)軌道改良工事		1	式	
③計				
レール交換事業計 ①②+③				
消費税及び地方消費税額(10%)				
合計				300,957

(2 前年度から変更・見直した点)

レール交換距離を見直しました。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	2年度予算	3年度予算	4年度予定	5年度予定	6年度以降	総額
事業費	286,616	300,957				
債務負担設定	35,539					35,539

令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 31 軌道修繕費	所属: 施設課 担当者: 内田、甲州

(単位:千円)

【 事業内容 】	3年度予算額
4 締結装置交換	

(1 事業目的・内容)

・締結装置交換工 3,414m

締結装置は、バネ・ボルト・ゴム等で構成されている軌条部品です。レールとマクラギを締結する締結装置は、列車走行の繰り返し荷重を受けること、経年劣化による締結力不足により軌間拡大・縮小が発生し、限度を超えると列車の脱線事故に至るため定期的に交換を行います。また、漏水区間のような腐食環境にある締結装置は、電食による損傷が生じるため長期計画に則り締結装置の交換を行います。

施工場所	施工延長	締結種類
①横浜～下町(下り)	408m	YP-1
②新横浜～北新横浜(下り)	171m	YP-1 ・ YS-3
③新横浜～北新横浜(下り)	340m	YP-1 ・ YS-3
④新横浜～北新横浜(上り)	838m	YP-1 ・ YS-3
⑤センター北～中川(下り)	677m	YP-1
⑥センター北～中川(下り)	77m	YP-1
⑦センター北～中川(下り)	464m	YP-1
⑧立場～下飯田(上り)	439m	YP-1

<事業費内訳>

	締結種類別延長(m)				施工延長 (m)	施工金額 (千円)
	YP-1	YS-1	YS-2	YS-3		
令和2年度					3,475	53,188
令和3年度						
令和4年度						
令和5年度						

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

令和3年度 修繕費 事業計画書

款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 31 軌道修繕費	予算科目 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費	担当 所属: 施設課 担当者: 内田, 山田
---------------------------------	-----------------------------------	------------------------------

(単位: 千円)

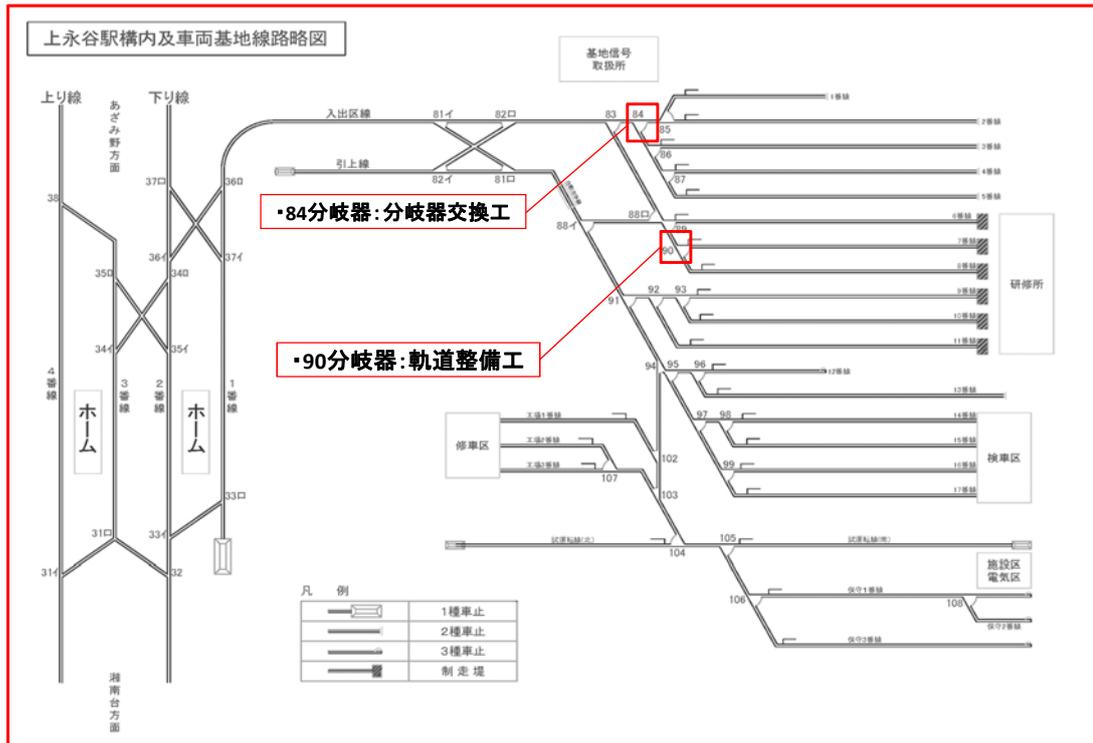
【事業内容】 5 上永谷車両基地分岐器交換	3年度予算額
--------------------------	--------

(1 事業目的・内容)

上永谷車両基地内に設置されている老朽化した分岐器について、計画に基づき交換します。

また、前年度交換した分岐器部についても道床安定化のため、軌道整備を行います。

- ・分岐器84 : 分岐器レール類交換、道床交換、マクラギ交換、軌道整備
- ・分岐器90 : 軌道整備(R2年度交換箇所)



上永谷車両基地分岐器交換計画

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
交換分岐器	90番	84番	85番	86番	87番	94番	95番	102番

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道土木実施基準、軌道整備心得、線路検査心得

令和3年度 修繕費 事業計画書

予算科目 款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：10 線路保存費 節・細節：31 軌道修繕費	担当 所属：施設課 担当者：内田、難波
--	---------------------------

(単位:千円)

<b>【事業内容】</b> 6 レール探傷検査	3年度予算額
----------------------------	--------

(1 事業目的・内容)

レールは、列車荷重を直接受けることで摩耗、損傷したり、継目部からき裂が生じたりします。また、漏水区間にあるレールは、電食による損傷等が発生します。このような損傷が徐々に進行することにより、レール破断が引き起こされます。そこで、このようなレール破断を未然に防ぐことを目的とし、レールの損傷及びレール内の傷の状態を把握し、危険箇所の早期発見、重点監視及び今後のレール交換計画の検討を行うため、レールの探傷を行います。

- ・レール探傷1次検査 (あざみ野～湘南台間上下線 延長 約81.2km)  
牽引式超音波レール探傷器によりレールの損傷及びレール内の傷の状態を測定します。
- ・レール探傷2次検査 30箇所  
1次検査の結果により、2次検査(詳細調査)を行います。

- ・トングレール探傷(あざみ野～湘南台間上下線 分岐部) 26箇所  
超音波レール探傷器により、トングレールの損傷及びレール内の傷の状態を測定します。

＜事業費内訳＞		R3	備考
レール探傷検査			
	レール探傷1次検査		
	レール探傷2次検査		
	トングレール探傷		
	小計		
	諸経費		
	計		
	税抜計		
	消費税		
	合計		

(2 前年度から変更・見直した点)

検査するトングレールの箇所数の見直しました。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道土木実施基準、軌道整備心得、線路検査心得

令和3年度 修繕費 事業計画書

款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 31 軌道修繕費	予算科目 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費	担当 所属: 施設課 担当者: 内田、甲州
---------------------------------	--------------------------------	-----------------------------

(単位:千円)

<b>【事業内容】</b> 7 レール削正	3年度予算額
--------------------------	--------

(1 事業目的・内容)

軌道の急曲線部等では、レールと車輪の接触により、レール頭部に凹凸(波状摩耗)が発生します。この波状摩耗の上を列車が通過すると、大きな騒音・振動が発生し、乗り心地に影響を与えたり、沿線住民にも騒音・振動の影響を与えることがあり、お客様の声も寄せられています。  
 また、繰り返しかかる列車荷重により、レール表層に疲労層が蓄積し、レール損傷等につながるおそれもあります。  
 以上、お客様CS(乗り心地改善、騒音・振動対策)及びレール延命化を目的とし、レール削正を行います。

- ・レール削正(4,000m)  
 車内環境改善及びレール延命(シェーリング箇所及び波状摩耗箇所)  
 お客様対応(振動・騒音対応)区間

<事業費内訳>

(千円)

		R3	備考
レール削正	レール削正		
	諸経費		
	税抜金額		
	消費税及び地方消費税額		税率10%
	税込金額		

- (2 前年度から変更・見直した点)  
 溶接部削正を削除しました。

- (3 根拠法令・規程、現場の意見等)  
 横浜市高速鉄道土木実施基準、軌道整備心得、線路検査心得

## 令和3年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 施設課
節・細節: 31 軌道修繕費			担当者: 内田、甲州

(単位: 千円)

	3年度 A	2年度 B	増△減(A-B)
予算額	105,576	115,040	△ 9,464

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

(単位: 千円)

【事業内容】	3年度予算額
1 材料補充	8,685
(1 事業目的・内容)	
<p>(1) 摩擦調整材購入 現在グリーンラインに設置されている摩擦調整材塗布装置6台に使用する、摩擦調整材を36缶購入します。</p> <p>(2) 軌道用品購入 レール交換に備えて軌道パット及び締結装置を購入します。</p>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
令和3年度は、レール及び分岐器部品の購入は行いません。	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	

令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 施設課	
節・細節: 31 軌道修繕費			担当者: 内田、甲州	

(単位:千円)

【 事業内容 】	3年度予算額
2 軌道整備	

(1 事業目的・内容)

列車の走行により、バラスト道床に繰り返し荷重がかかると軌道に変位が生じ、そのまま放置しておくと軌道部材(レール・締結装置等)の経年劣化を早めるばかりか、軌道材料の交換周期が短くなり、軌道変位を助長し最終的に列車走行に支障をきたします。軌道変位を元に戻すことにより、列車走行の安全及び軌道の維持を図ります。

・軌道整備工(車両基地内人力による突き固め整備)  
軌道保守長期計画に則り、車両基地の約1/6を整備(道床搗き固め)します。

軌道整備工	2年度予定	3年度予定	4年度予定	5年度予定
留置線等(m)	370	242	367	159
分岐器(基)	4	4	3	5

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道土木実施基準、軌道整備心得、線路検査心得

(4 年次表)

	2年度予算	3年度予算	4年度予定	5年度予定	6年度以降	総 額
事 業 費	6,068					
債務負担設定						

令和3年度 修繕費 事業計画書

款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 31 軌道修繕費	予算科目 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費	担 当 所属: 施設課 担当者: 内田、難波
---------------------------------	--------------------------------	------------------------------

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
--------	--------

3 レール探傷検査

(1 事業目的・内容)

レールは、列車荷重を直接受けることで摩耗、損傷したり、継目部からき裂が生じたりします。また、漏水区間にあるレールは、電食による損傷等が発生します。このような損傷が徐々に進行することにより、レール破断が引き起こされます。そこで、このようなレール破断を未然に防ぐことを目的とし、レールの損傷及びき裂状態を把握し、危険箇所の早期発見、重点監視及び今後のレール交換計画の検討を行うため、レールの探傷を行います。

- ・レール探傷1次検査 (中山～日吉間上下線全線 延長 約25.6km)  
牽引走行式超音波レール探傷器によりレールの損傷及びき裂状態を測定します。
- ・レール探傷2次検査 10箇所  
上記検査により異常箇所が発見された場合に、必要に応じて2次検査(詳細調査)を行います。さらに、2次検査により損傷箇所があったと認められた場合には、直営により補強及び交換を行います。また、危険箇所があった場合には、破断事故を未然に防ぐため、直営により重点監視を行います。
- ・トンダレール探傷(日吉～中山間上下線 分岐部) 4箇所  
超音波レール探傷器により、トンダレールの損傷及びレール内の傷の状態を測定します。

<事業費内訳> (千円)

	R3	備考
レール探傷検査		
レール探傷1次検査		
レール探傷2次検査		
トンダレール探傷		
小計		
諸経費		
計		
消費税及び地方消費税額		
合計		

(2 前年度から変更・見直した点)  
トンダレール探傷の箇所数の見直しをしました。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜高速鉄道土木実施基準、軌道整備心得、線路検査心得

令和3年度 修繕費 事業計画書

款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 31 軌道修繕費		予算科目 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費	担当 所属: 施設課 担当者: 内田、甲州
---------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
4 レール削正	

(1 事業目的・内容)

軌道の急曲線部等では、レールと車輪の接触により、レール頭部に凹凸(波状摩耗)が発生します。この波状摩耗の上を列車が通過すると、大きな騒音・振動が発生し、乗り心地に影響を与えたり、沿線住民にも騒音・振動の影響を与えることがあり、お客様の声も寄せられています。また、繰り返しかかる列車荷重により、レール表層に疲労層が蓄積し、レール損傷等につながるおそれもあります。以上、お客様CS(乗り心地改善、騒音・振動対策)及びレール延命化を目的とし、レール削正を行います。

- ・レール削正(4,500m)  
 車内環境改善及びレール延命(シェーリング箇所及び波状摩耗箇所)  
 お客様対応(振動・騒音対応)区間

<事業費内訳> (千円)

		R3	備考
レール削正			
	レール削正		
	諸経費		
	税抜金額		
	消費税及び地方消費税額		税率10%
	税込金額		

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道土木実施基準、軌道整備心得、線路検査心得

## 令和3年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費	所属: 上永谷保守管理所 担当者: 平塚、坪井

(単位:千円)

	3年度 A	2年度 B	増△減(A-B)
予算額	30	30	0

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
1 諸構築物修繕費 材料費	30
(1 事業目的・内容)  構築施設の部材を購入する費用。	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	

## 令和3年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費	所属: 新羽保守管理所 担当者: 本間 匠

(単位: 千円)

	3年度 A	2年度 B	増△減(A-B)
予算額	20	20	0

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

(単位: 千円)

【事業内容】	3年度予算額
1 諸構築物及び諸設備修繕 部品材料 設備区	20
(1 事業目的・内容) 緊急の諸設備修繕に必要な部品・材料を購入するための新羽保守管理所長に前渡する資金。	
(2 前年度から変更・見直した点) なし	
(3 根拠法令・規程、「現場の意見」等) 前渡資金があれば、速やかに部品・材料を購入し修繕作業を行える。	

## 令和3年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費	所属: 新羽保守管理所 担当者: 本間 匠

(単位: 千円)

	3年度 A	2年度 B	増△減(A-B)
予算額	10	10	0

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

(単位: 千円)

【事業内容】	3年度予算額
1 諸構築物及び諸設備修繕 部品材料 設備区	10
(1 事業目的・内容) 緊急の諸設備修繕に必要な部品・材料を購入するための新羽保守管理所長に前渡する資金。	
(2 前年度から変更・見直した点) なし	
(3 根拠法令・規程、「現場の意見」等) 前渡資金があれば、速やかに部品・材料を購入し修繕作業を行える。	

## 令和3年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費	所属: 川和保守管理所 担当者: 今野、阿部

(単位: 千円)

	3年度 A	2年度 B	増△減(A-B)
予算額	30	30	0

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

(単位: 千円)

【事業内容】	3年度予算額
1 諸構築物及び諸設備修繕 部品材料	30
(1 事業目的・内容) 緊急の諸構築物及び諸設備修繕に必要な部品・材料を購入するための小額物品費	
(2 前年度から変更・見直した点) なし	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等) 局の小額物品制度による	

令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費	所属: 施設課 担当者: 望月係長・千葉係長・田中

(単位: 千円)

	3年度 A	2年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	178,122	263,131	△ 85,009

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

(単位: 千円)

【 事 業 内 容 】	3年度予算額
1 材料費	9,300

(1 事業目的・内容)

- ・上下 横浜～三ツ沢下町間の軌道改良工事内で排水溝蓋撤去設置工に使用する材料の購入(410枚)
- ・その他、諸構築物の維持管理に必要な材料費を計上します。



排水溝蓋(アンチスリップ鋼板)

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費	所属: 施設課 担当者: 望月・千葉・西村

(単位:千円)

【 事業内容 】	3年度予算額
2 構造物検査委託	

(1 事業目的・内容)

- ・構造物の変状を調査し、劣化進行の予測及び健全度を把握するために、国土交通省通達に基づき2年に1回行うこととされる通常全般検査 I を行います。
- ・車両天井部にコンクリート片の落下が発見されたことを受けて、今後一層の列車運行の安全維持を行うことを目的に通常全般検査 II (状態の悪い箇所)を毎年実施します。
- ・下永谷・片倉・吉田町トンネルのクラック幅の測定を行い、トンネル変状の追跡を行います。

※令和3年度対象箇所

検査項目	検査対象	検査方法
通常全般検査 I	1号線 関内～湘南台	十分な照明を用いての徒歩による目視検査
通常全般検査 II	1・3号線 湘南台～あざみ野	前回の検査時の結果に基づき必要な箇所の目視及び打音検査
山岳トンネルひび割れ測定	下永谷・片倉・吉田町トンネル	パイゲージ設置、クラック幅の測定、追跡調査
ケーソン・連絡通路部検査	1号線	漏水点検

構造物検査計画表

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
複数年契約	2年契約		単年	単年	2年契約		2年契約		2年契約				
■通常全般検査 I													
1号線(関内～湘南台間)													
3号線(あざみ野～関内間)													
4号線(中山～日吉間)													
CADデータ更新													
■特別全般検査													
1号線(関内～湘南台間)													
3号線(あざみ野～関内間)													
4号線(中山～日吉間)													
■通常全般検査 II (個別検査)													
1号線(関内～湘南台間)													
3号線(あざみ野～関内間)													
4号線(中山～日吉間)													
■通常全般検査 II (シールドキャップ)													
4号線(中山～日吉間)													

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・通常全般検査 II (個別検査)回数を増加した。2年に1回から3回へ増加。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	2年度予算	3年度予算	4年度予定	5年度予定	6年度以降	総 額
事業費	81,862					81,862
債務負担設定	93,824					93,824

令和3年度 修繕費 事業計画書

款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	担 当
節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費			所属: 施設課 担当者: 望月・千葉・日比野

(単位: 千円)

【 事業内容 】	3年度予算額
3 トンネル内測量委託	

- (1 事業目的・内容)
- ・水準測量  
高速鉄道構内に設置してある水準点の測定を順次行います。
  - ・内空断面測定  
シールドトンネルの内空断面を測定します。

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	[測量頻度]	
■水準測量													
③北新横浜～岸根公園間(特1)		●		●		●		●		●		1回/2年	軌道の 四項目とも 絡みがある ため不動
①③横浜～長者町間(特2)	●		●		●		●		●		●	1回/2年	
③あざみ野～北新横浜間(A)				●				●				1回/4年	
③岸根公園～横浜間(B)				●				●				1回/4年	
①長者町間～戸塚間(C)	●				●				●			1回/4年	
①戸塚～湘南台間(D)	●				●				●			1回/4年	
④中山～日吉間(E)	●				●				●			1回/4年	
■内空測定													
③大江橋シールド		●				工事内測定済	●					R2の結果で決定	
③平沼町シールド	●	●	●	●	●	工事内測定済	●					R2の結果で決定	
③鶴見川シールド		●		●			●			●		1回/3年	
①宮元町シールド	●	●	●	●	●		工事を行う場合は工事内で測定も入れる						
①関ノ下シールド	●				●							1回/5年	
④駒林シールド	●				●					●		1回/5年	
④高田西シールド	●				●					●		1回/5年	
③片倉山岳トンネル	●	●	●	●			●		●		●	1回/2年	
①下永谷山岳トンネル	●				●					●		1回/5年	
④北山田シールド(近接関係)						●	●	●	●			適宜	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	2年度予算	3年度予算	4年度予定	5年度予定	6年度以降	総 額
事業費	12,826					
債務負担設定						

令和3年度 修繕費 事業計画書

款：02 高速鉄道事業費 節・細節：32 諸構築物及び諸設備修繕費		予算科目 項：01 営業費用 目：10 線路保存費	担 当 所属：施設課 担当者：望月係長、千葉係長、杉崎
--------------------------------------	--	------------------------------	-----------------------------------

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
4 漏水補修工事	

(1 事業目的・内容)

土木構造物や軌道構造物の劣化因子となる漏水の対策として、これまでに受け樋の設置を行ってきましたが、経年劣化による受け樋自体の落下による列車運行への影響を事前に防止する必要があります。  
 そのため、設置後概ね20年を経過した受け樋を対象として、計画的に更新することとします。  
 また、新規漏水部については、漏水箇所の区間や位置、漏水量などにより受け樋設置と止水注入を使い分けて対処します。



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	2年度予算	3年度予算	4年度予定	5年度予定	6年度以降	総 額
事業費	78,162					355,730
債務負担設定						

令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 施設課	
節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費			担当者: 望月係長、千葉係長、天野	

【事業内容】	(単位:千円)
5 鋼構造物塗装工事	3年度予算額

(1 事業目的・内容)

鋼板や鋼構造物において、表面の塗装が劣化することによる鋼材の腐食等を防ぐため、塗装の塗替えを実施します。

○補修工事



(2 前年度から変更・見直した点)

当該区間は、軌道工事などの別工事が行われ作業が輻輳するため、年度末初の輻輳しない期間に構築補修工事の中で実施することとする。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	2年度予算	3年度予算	4年度予定	5年度予定	6年度以降	総 額
事業費	30,281					45,422
債務負担設定						

令和3年度 修繕費 事業計画書

款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費	予算科目 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費	担当 所属: 施設課 担当者: 望月係長、千葉係長、杉崎
--	--------------------------------	------------------------------------

(単位:千円)

<b>【事業内容】</b> 6 モルタル撤去工事	3年度予算額
-----------------------------	--------

(1 事業目的・内容)

開業後35年以上経過している横浜～上永谷間を中心として、中間杭跡などの小規模な浮き及び剥離を生じている箇所について、剥落による列車運行への影響を事前に防止する必要があります。  
 そのため、浮き及び剥離箇所を抽出し、計画的に断面補修を行います。



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	2年度予算	3年度予算	4年度予定	5年度予定	6年度以降	総額
事業費	4,440					27,908
債務負担設定						

## 令和3年度 修繕費 事業計画書

予算科目		担当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費	所属: 施設課 担当者: 望月係長・千葉係長

【事業内容】	(単位:千円)
7 諸構築物修理	3年度予算額

(1) 事業目的・内容)

地下鉄の安全運行の確保やお客様向けサービス施設等の維持を目的として、トンネル内の補修、敷地内のフェンス修理及び舗装修理など、土木建造物の修理を緊急に行います。

(2) 前年度から変更・見直した点)

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

令和3年度 修繕費 事業計画書

款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費	予 算 科 目 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費	担 当 所属: 施設課 担当者: 望月・千葉・西村
--	--------------------------------------	---------------------------------

(単位:千円)

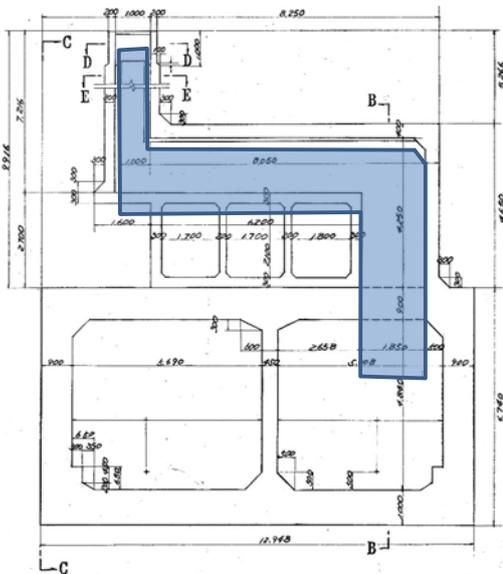
【事業内容】 8 通風口詳細調査委託	3年度予算額
-----------------------	--------

(1 事業目的・内容)

・1号線において、軌道上部の開口部(通風口)の老朽化が進んでおり、はく落のおそれがあるため、詳細な調査を行う必要があります。別業務委託の構造物検査委託の対象外であるため、今まで詳細な検査を行っていない箇所となります。

検査対象	箇所数
1号線 関内～上永谷	26箇所

例)



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

上永谷保守管理所からも調査を行うべきとの意見がありました。

(4 年次表)

	2年度予算	3年度予算	4年度予定	5年度予定	6年度以降	総 額
事業費						11,000
債務負担設定						

## 令和3年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 01 諸構築物保存費 節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費	所属: 施設課 担当者: 望月係長、千葉係長、田中

(単位:千円)

	3年度 A	2年度 B	増△減(A-B)
予算額	30,213	24,344	5,869

<input type="checkbox"/>	ブルーライン
<input checked="" type="checkbox"/>	グリーンライン
<input type="checkbox"/>	共通

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
1 材料費	100
(1 事業目的・内容)	
<p>・諸構築物の維持管理に必要な材料費を計上します。</p>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	

令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：10 線路保存費 節・細節：32 諸構築物及び諸設備修繕費	所属：施設課 担当者：望月・千葉・西村

(単位:千円)

【 事業内容 】	3年度予算額
2 構築物検査委託	

(1 事業目的・内容)

- ・構築物の変状を調査し、劣化進行の予測及び健全度を把握するために、国土交通省通達に基づき2年に1回行うこととされる通常全般検査Ⅰを行います。
- ・車両天井部にコンクリート片の落下が発見されたことを受けて、今後一層の列車運行の安全維持を行うことを目的に通常全般検査Ⅱ(状態の悪い箇所)を毎年実施します。
- ・4号線シールドトンネルのシールドキャップを近接目視・打音検査を行い、緩みの確認を行います。

※令和2年度対象箇所

検査項目	検査対象	検査方法
通常全般検査Ⅰ	4号線 日吉～中山	十分な照明を用いての徒歩による目視検査
通常全般検査Ⅱ	4号線 日吉～中山	前回の検査時の結果に基づき必要な箇所の目視及び打音検査
シールドキャップ点検	高田ずい道	目視及び打音検査を行い、緩みの確認

構築物検査計画表

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
複数年契約	2年契約		単年	単年	2年契約		2年契約		2年契約				
■通常全般検査Ⅰ													
1号線(関内～湘南台間)													
3号線(あざみ野～関内間)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
4号線(中山～日吉間)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
CADデータ更新				●	●	●	●	●					●
■特別全般検査													
1号線(関内～湘南台間)				●	●	●	11.01km	17.93km					
3号線(あざみ野～関内間)				6.4km	10.12km	18.79km	●	●					
4号線(中山～日吉間)													
■通常全般検査Ⅱ(個別検査)													
1号線(関内～湘南台間)			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
3号線(あざみ野～関内間)			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
4号線(中山～日吉間)			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
■通常全般検査Ⅱ(シールドキャップ)													
4号線(中山～日吉間)			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・通常全般検査Ⅱ(個別検査)回数を増加した。2年に1回から3回へ増加。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	2年度予算	3年度予算	4年度予定	5年度予定	6年度以降	総 額
事業費	9,374					
債務負担設定	13,000					

令和3年度 修繕費 事業計画書

款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費	予算科目 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費	担当 所属: 施設課 担当者: 望月・千葉・日比野
--	-----------------------------------	---------------------------------

(単位: 千円)

【事業内容】	3年度予算額
3 トンネル内測量委託	

(1 事業目的・内容)

- ・富士見が丘擁壁測定  
都筑ふれあいの丘・川和町間のトンネル地上部にある富士見が丘擁壁に変状の追跡調査を目的とし、計画的に(1回/年)測量を実施します。測点数20か所



- ・内空断面測定  
センター北～北山田間のシールドトンネルの内空断面測定を行います。(近接協議後適宜)

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	2年度予算	3年度予算	4年度予定	5年度予定	6年度予定	総額
事業費	2,175					
債務負担設定						

令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 施設課	
節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費			担当者: 望月係長、千葉係長、杉崎	

(単位:千円)

【 事業内容 】	3年度予算額
4 漏水補修工事	

(1 事業目的・内容)

土木構造物や軌道構造物の劣化因子となる漏水の対策として、これまでに受け樋の設置を行ってきましたが、経年劣化による受け樋自体の落下による列車運行への影響を事前に防止する必要があります。  
 そのため、設置後概ね20年を経過した受け樋を対象として、計画的に更新することとします。  
 また、新規漏水部については、漏水箇所の間隔や位置、漏水量などにより受け樋設置と止水注入を使い分けて対処します。



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	2年度予算	3年度予算	4年度予定	5年度予定	6年度以降	総 額
事業費	10,695					
債務負担設定						

## 令和3年度 修繕費 事業計画書

予算科目		担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費	目: 10 線路保存費	所属: 施設課 担当者: 望月係長・千葉係長

【事業内容】 (単位:千円) 2年度予算額

## 5 諸構築物修理

(1 事業目的・内容)

地下鉄の定期運行の確保やお客様向けサービス施設等の維持を目的として、トンネル内の補修、敷地内のフェンス修理及び舗装修理など、土木構造物の修理を緊急に行います。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## 令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 資産活用課	
節・細節: 33 建物修繕費			担当者: 田中、王	

(単位:千円)

	3年度 A	2年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	1,540	3,292	△ 1,752

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	3年度予算額
1 高速鉄道事業会計店舗施設等修繕費	
(1 事業目的・内容)	
<p>駅や高架下などに設置している店舗等(令和2年9月時点で111店舗)における突発的な修繕や漏水対応を行うものであり、各店舗の営業に支障をきたさないようにします。</p>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	

## 令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 資産活用課	
節・細節: 33 建物修繕費			担当者: 田中、王	

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	3年度予算額
<p><b>2 新横浜交通ビル建物維持管理・改修工事</b></p> <p>(1 事業目的・内容)            新横浜交通ビル(以下「交通ビル」という。)は当局と横浜交通開発株式会社で区分所有をしている建物で、現在地上1階から6階部分を外部事業者テナント貸付しています。</p> <p>交通ビル建物は現在当局所有部分が築37年(昭和58年築)、交通開発所有部分が築32年(昭和63年築)を経過しており、経年劣化による故障の可能性があるため、突発的な設備の故障などに対応できるようにします。</p> <p>工事の施工については交通ビルの公有財産賃貸借契約に基づき横浜交通開発株式会社が「建物維持管理・改修工事に関する覚書の一部を変更する覚書」の費用負担割合に基づき当局が36.5%、同社が63.5%の費用負担を行います。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p>	

## 令和3年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 33 建物修繕費	所属: 新羽保守管理所 担当者: 本間 匠

(単位: 千円)

	3年度 A	2年度 B	増△減(A-B)
予算額	30	30	0

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

(単位: 千円)

【事業内容】	3年度予算額
1 建物修繕 部品材料 設備区	30
(1 事業目的・内容) 緊急の建物修繕に必要な部品・材料を購入するための新羽保守管理所長に前渡する資金。	
(2 前年度から変更・見直した点) なし	
(3 根拠法令・規程、「現場の意見」等) 前渡資金があれば、速やかに部品・材料を購入し修繕作業を行える。	

令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 33 建物修繕費	所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、横田、武藤

(単位:千円)

	3年度 A	2年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	587,391	776,240	△ 188,849

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額																		
建1 材料補充事業(営繕分)	1,596																		
(1 事業目的・内容)																			
ブルーラインでの直営作業による修理に必要な作業用具・材料の補充をし、機械設備及び建築施設等の機能を維持します。																			
【主な補充材料】 蓄光誘導標識修理・鉄部補修用ペンキ類・粘着剥離剤・トイレブース部品等。																			
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>平成28年度</td> <td>平成29年度</td> <td>平成30年度</td> <td>令和元年度</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> </tr> <tr> <td>1,570</td> <td>1,548</td> <td>1,796</td> <td>1,354</td> <td>1,696</td> <td>1,596</td> </tr> <tr> <td>※実績</td> <td>※実績</td> <td>※実績</td> <td>※実績</td> <td>※決算見込</td> <td></td> </tr> </table>		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	1,570	1,548	1,796	1,354	1,696	1,596	※実績	※実績	※実績	※実績	※決算見込	
平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度														
1,570	1,548	1,796	1,354	1,696	1,596														
※実績	※実績	※実績	※実績	※決算見込															
(2 前年度から変更・見直した点)																			
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)																			

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額																				
設1 材料補充事業(機械分)	1,653																				
(1 事業目的・内容)																					
ブルーライン駅・車両基地等で発生した設備故障に対し、迅速な復旧作業を行うための直営修理に必要な設備材料を補充し、各設備の機能を回復し、お客様サービスの低下を防止します。																					
※購入機材:お客様トイレ用衛生器具類・送風機用Vベルト・制御用電気部品等																					
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="5">各年度実績表</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>平成30年度</td> <td>令和元年度</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> </tr> <tr> <td>2,033</td> <td>1,587</td> <td>897</td> <td>2,095</td> <td>1,653</td> </tr> <tr> <td>※実績</td> <td>※実績</td> <td>※実績</td> <td>※決算見込</td> <td></td> </tr> </table>		各年度実績表					平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	2,033	1,587	897	2,095	1,653	※実績	※実績	※実績	※決算見込	
各年度実績表																					
平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度																	
2,033	1,587	897	2,095	1,653																	
※実績	※実績	※実績	※決算見込																		
(2 前年度から変更・見直した点)																					
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)																					

令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 33 建物修繕費	所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、横田、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
建1 駅施設等建築修繕工事	20,487

(1 事業目的・内容)

【駅施設等建築修繕工事(ゼロ市工事)】

ブルーライン地下鉄各施設(32駅・18変電所・2車両基地)で発生する突発的な故障の緊急修理を行います。

H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
15,265	15,400	13,347	13,097	
※実績	※実績	※実績	※決算見込	

【駅施設等修理(1件修理)】

ブルーライン地下鉄各施設(32駅・18変電所・3車両基地)で発生する工事発注未済の小規模な修理を行います。

H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
1,308	9,868	2,778	5,406	
※実績	※実績	※実績	※決算見込	

【駅評価対応】

各駅ごとに修繕が必要な案件を挙げてもらい、随時修理を行います。

R1年度	R2年度	R3年度
9,619	7,928	
※予算	※決算見込	

項 目	R3年度
駅施設建築修繕工事	
駅施設等修理(1件修理)	
駅評価対応修理	
計	20,487

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	2年度予算	3年度予算	4年度予定	5年度予定	6年度以降	総 額
事業費	28,981	20,487				
債務負担設定	28,981					

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
建2 サイン等製作及び設置業務委託	

(1 事業目的・内容)

駅構内の案内サインについて、旅客サービス維持を目的とし、記載内容の変更や不良箇所の貼り替え等に速やかに対応するため、案内サインの製作、貼付の業務委託を行います。

(千円)

	R2	R3
BL	1,075	
GL	537	
計	1,612	
	※決算見込	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、横田、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
建3 漏水受樋取付工事	

(1 事業目的・内容)

地下鉄や地上高架下部等では、土木躯体より漏水が発生し、接客障害や重要機器類の故障など営業事故に繋がる恐れがあることから、緊急対応として漏水受樋の取付工事を実施するものです。年度当初に予定数量及び単価を定めた契約を行います。

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
10,770	11,113	8,764	12,439	
※実績	※実績	※実績	※決算見込	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	2年度予算	3年度予算	4年度予定	5年度予定	6年度以降	総 額
事業費	13,285					
債務負担設定						

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
建4 縦排水管清掃業務委託	

(1 事業目的・内容)

ブルーライン地下鉄各施設には、土木構築からの漏水やその他排水(湧水等)を処理するための縦排水管が設置されていますが、当該排水の水質や異物等により管の閉塞が進行した場合、駅施設への漏水等の原因となるだけでなく、溜まり水による異臭・蚊等が発生し、お客様や駅設備に対し影響を及ぼします。  
このため、本委託業務では、特殊清掃機具等を使用した管の詰まり除去や、側溝等の清掃を行うことで、適切な駅排水機能を維持し、お客様や駅施設への障害の低減を図ります。

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
2,865	2,747	2,779	
※実績	※実績	※決算見込	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## 令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 建築課	
節・細節: 33 建物修繕費			担当者: 倉本、大熊、横田、武藤	

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
建5 駅施設等屋根清掃業務委託	

## (1 事業目的・内容)

本業務は、通常点検を行えない変電所、基地等の地下鉄施設や地上部駅舎、各駅出入口等の屋上部について清掃を行うものです。この清掃において、当該部分の排水溝等の塵埃・枯葉・ゴミ等を除去することで、建物屋上部の防水機能の保全が図れるだけでなく、排水障害に起因する重要施設内部や接客部分への漏水を軽減し、地下鉄設備の保護や駅機能の確保を図ります。

## [委託内容]

- ・屋上部、屋根部清掃
- ・屋上部、屋根部除草
- ・除草部薬剤散布
- ・ゴミ等運搬

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
864	482	1,401	
※実績	※実績	※決算見込	

## (2 前年度から変更・見直した点)

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
建6 駅施設シャッター等保守点検業務委託	

## (1 事業目的・内容)

ブルーライン各施設(32駅・8変電所・2車両基地)の防災シャッター・防火戸・電動トップライト・排煙窓等は、法令により、特に正常な動作が必要とされており、これらの故障を未然に防ぐ目的から定期的な保守点検を委託により実施します。また、当該出入口に設置されている管理シャッターについても、施設開放・閉鎖機能を保持する必要があるため、同様の点検を実施します。

## ○数量内訳

項目	点検回数	令和3年度予定数量
シャッター	年1回	562か所
電動トップライト	年1回	3か所
防火戸	年1回	80か所
垂れ壁	年1回	86か所
排煙オペレーター	年1回	244か所

## (2 前年度から変更・見直した点)

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## 令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 節・細節：33 建物修繕費	項：01 営業費用 目：10 線路保存費 所属：建築課 担当者：倉本、大熊、横田、武藤

(単位：千円)

【事業内容】	3年度予算額
建7 自動ドア保守点検業務委託	1,810

(1 事業目的・内容)

ブルーライン26施設56か所の自動ドアについて、正常な動作を確保し、お客様の挟み込みや閉じ込め等のトラブルを未然に防ぐため、保守点検の委託を行います。

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
1,350	1,402	1,612	1,810

※実績

※実績

※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(単位：千円)

【事業内容】	3年度予算額
建8 駅施設シャッター等修理	3,874

(1 事業目的・内容)

ブルーライン地下鉄各施設(32駅・8変電所・2車両基地)のうち駅施設の出入口管理シャッター・潜り戸・電動トップライト排煙窓等の定期点検結果に基づき、不具合箇所を修理します。

H28	H29	H30	R1	R2	R3
4,809	3,891	5,242	2,488	4,280	3,874

※実績

※実績

※実績

※実績

※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 節・細節：33 建物修繕費	項：01 営業費用 目：10 線路保存費 所属：建築課 担当者：倉本、大熊、横田、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
建9 自動ドア修理	920

(1 事業目的・内容)

ブルーライン26施設56か所の自動ドアの定期点検結果に基づき、不具合箇所を修理します。

H28	H29	H30	R1	R2	R3
2,003	1,129	581	1,048	1,238	920
※実績	※実績	※実績	※実績	※決算見込	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
建10 建具更新工事	[Redacted]

(1 事業目的・内容)

建具更新工事は、各駅その他施設に設置している扉や窓について、腐食の進行や老朽化により、修理対応では調整が不可能となった箇所の更新を行うものです。

【更新履歴】

年度	該当施設	か所数	金額(千円)	備考
H30	横浜駅、伊勢佐木長者町駅、戸塚駅、港南中央駅、舞岡駅、篠原中間換気所、大江橋中間換気所	7	11,446	実績
R1	横浜駅、高島町駅、伊勢佐木長者町駅、舞岡駅、踊場駅、片倉中間換気所	6	12,779	実績
R2	上永谷保守管理所、新羽保守管理所	4	11,462	決算見込
R3	新羽乗務管理所、岸根公園、弘明寺、三ツ沢下町	7	[Redacted]	予算

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
建11 シャッター駆動装置更新その他工事	[Redacted]

(1 事業目的・内容)

駅構内に設置している防煙・防火シャッターは、火災発生時には煙感知器、熱感知器に連動し、自動降下することで延焼を防止する重要な設備です。これらのシャッターについて、毎年定期点検を実施していますが、経年劣化による不具合の発生箇所がありその都度、調整や応急処置を行っています。しかし、現在では開閉機(モーターを含む駆動に係る装置一式)の部分補修や部品交換が不可能な箇所(構造部)に不具合が見られ、開閉機一式の更新が必要です。不具合を放置した場合、火災発生時などにブレーキが解放せずシャッターが自動降下しない、または通常開いているシャッターがブレーキ故障で火災発生等に関係なく勝手に降下してしまうなど、重大な事故に繋がることから、開閉機の更新工事を行います。

また、建築基準法施行令第112条第14項の改正により、更新の際には火災発生時のシャッター降下時の設備として避難時停止装置(自動閉鎖装置・危害防止用連動中継器・電気式手動閉鎖装置・コードリール・座板スイッチ)の設置が義務付けられましたので、合わせて新設を行います。

令和3年度は中田駅(12か所)について更新工事を行います。

年度	R元	R2	R3
施設名	北新横浜(2)	中川(11)	中田(12)
	仲町台(4)	下永谷(7)	
	あざみ野(18)	上永谷兼車庫(9)	
数量(か所)	24	27	12
事業費	21,747	33,625	[Redacted]
	※実績	※決算見込	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 節・細節：33 建物修繕費	項：01 営業費用 目：10 線路保存費 所属：建築課 担当者：倉本、大熊、横田、武藤

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	3年度予算額
<b>建12 交通局施設保守管理業務委託</b>	
(1 事業目的・内容)	
ブルーライン地下鉄各施設(32駅・2車両基地、牛久保厚生会館跡地、横浜駅地下1階店舗(ドコモ、ツタヤ)、中川駅前タクシー乗り場)で発生する突発的な緊急を要する設備故障、漏水等が発生した場合に迅速に処置を行うため、365日24時間体制でコールセンター業務(電話対応及び現地での一次対応)を行います。	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	3年度予算額
<b>建13 交通局施設建築物点検業務委託</b>	
(1 事業目的・内容)	
ブルーライン地下鉄各施設(32駅・18変電所・2車両基地)において、建築物の点検(3年に1回)を行い、交通局に報告する業務となります。(建築基準法12条点検を含む。) 令和3年度は以下の施設の点検を行います。	
蒔田駅、吉野町駅、阪東橋駅、伊勢佐木長者町駅、関内駅、桜木町駅、高島町駅、横浜駅(横浜駅地下1階ドコモ・ツタヤ含む)、三ツ沢下町駅、三ツ沢上町駅、片倉町駅、岸根公園駅、新横浜駅(行政サービスコーナー含む)、北新横浜駅、牛久保厚生会館跡地(1・2階)	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	3年度予算額
<b>設1 昇降機保守委託事業</b>	209,527

(1 事業目的・内容)						
ブルーライン各駅等に設置しているエレベーター・エスカレーターを整備要領及び関係法令・規則・条例等に従い保守点検を行い、昇降機の機能を常に良好な状態に維持します。 なお、昇降機保守点検は、故障発生の際にも即日復旧対応を可能とするフルメンテナンス契約(定期点検のほか補修・緊急対応を含む)とし、お客様へのご不便を軽減させます。						
○内訳						
エレベーター	エスカレーター					
BL32駅+2基地エレベーター点検保守 80	BL27駅エスカレーター点検保守・清掃 125					
BL32駅+2基地エレベーター点検保守	BL32駅+2基地エレベーター点検保守					
○契約年表						
	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
関内駅ほか7駅		3年契約			3年契約	
センター南駅ほか8駅		3年契約			3年契約	
下飯田駅ほか2駅		3年契約			3年契約	
阪東橋駅ほか2駅	1年契約		3年契約			3年契約
北新横浜駅ほか1駅	1年契約		3年契約			3年契約
新羽駅ほか22駅		3年契約		3年契約		3年契約
立場駅ほか2駅		3年契約		3年契約		3年契約
中川駅		3年契約		3年契約		3年契約
(2 前年度から変更・見直した点)						
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)						
(4 年次表)						
	2年度予算	3年度予算	4年度予定	5年度予定	6年度以降	総 額
事業費	207,277	209,527	216,998	227,152	237,720	1,098,674
債務負担設定	237,330	201,453	26,401	217,860	227,320	910,364

令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 節・細節：33 建物修繕費	項：01 営業費用 目：10 線路保存費 所属：建築課 担当者：倉本、大熊、横田、武藤

(単位：千円)

【事業内容】	3年度予算額
設2 排水槽その他清掃業務委託事業	28,124

(1 事業目的・内容)

ブルーライン各駅等に設置している排水槽・汚水槽・受水槽・中水槽・浄化槽を整備心得・要領及び関係法令・規則・条例等に  
従い槽清掃及び保守点検を行い、槽の衛生的環境を良好な状態に維持します。

内訳

委託件名	設備数	清掃回数
排水槽清掃その他清掃業務委託	58か所	排水槽清掃 5か所(1回/年)
		汚水槽清掃 43か所(2~6回/年)
		中水槽清掃 11か所(1回/年・1回/3年)
受水槽清掃業務委託	9か所	受水槽清掃 9か所(1回/年)
浄化槽維持管理委託	1か所	浄化槽清掃 1か所(1回/年)

(2 前年度から変更・見直した点)

汚水槽引き抜き清掃回数増：戸塚駅(2)、弘明寺駅(2)、阪東橋駅(2)、伊勢佐木長者町駅(2)、横浜駅(2)、三ツ沢下町駅(4)、新横浜駅(2)

合計：汚水槽引き抜き清掃16回追加

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

汚水槽：「建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行規則の一部を改正する省令の施行について」  
 受水槽：「建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行規則の一部を改正する省令の施行について」、  
 「水道法施行規則」、「横浜市簡易専用水道及び小規模受水槽水道における安全で衛生的飲料水の  
 確保に関する条例施行規則」  
 浄化槽：「浄化槽法」

(単位：千円)

【事業内容】	3年度予算額
設3 高速鉄道機械設備等保守委託事業	46,039

(1 事業目的・内容)

ブルーライン各駅等に設置している換気・空調設備、給排水給湯等について、定期保守点検を実施し、各設備の機能を常に  
良好かつ適法状態に維持管理します。

○内訳

設備種別	か所数	主な設備及び点検周期
空調設備	34か所	居室系 年2~4回 券売機室系 年4回 駅冷房 年4回+冷凍機運転監視
換気設備	34か所	排気送風機 年2~3回、フィルター 年1回
給排水・給湯設備	35か所	電気温水器、排水ポンプ 年1~2回

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

・厚生労働省令「建築物における衛生的環境の維持管理について」

## 令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、横田、武藤
項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費	

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
設4 防災設備保守委託事業	33,196

## (1 事業目的・内容)

ブルーライン各駅等に設置している屋内消火栓・スプリンクラー・排煙等を整備心得・要領及び関係法令・規則・条例等に従い保守点検を行い、防災設備の機能を常に良好な状態を保ち、万一の火災が発生した場合、確実に作動するよう維持します。

## ○内訳

	設置場所	主な設備及び点検周期
防災設備	34か所	屋内外消火栓、スプリンクラー、連結送水管、消火器、泡消火、CO2消火、粉末消火、排煙 年2回 各種放水試験 年1回 消火栓ホース、連結送水管耐圧試験 3年検査

## (2 前年度から変更・見直した点)

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

・消防法及び消防施行規則

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
設5 排水ポンプほか重要設備保守委託事業	

## (1 事業目的・内容)

ブルーライン各駅及び車両基地に設置している、トンネル排水設備や信号機器室空調機等、列車運行に支障する恐れのある重要設備の機能を常時良好な状態に維持管理し、地下鉄の定時運行を確保します。

## ○内訳

設備種別	設備数	主な設備及び点検周期
重要設備	46か所	トンネル排水・汚水・雑排水ポンプ 年2回、月1回 信号機器室系空調機 年4回

## (2 前年度から変更・見直した点)

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

・厚生労働省令「建築物における衛生的環境の維持管理について」

令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、横田、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
設6 除害施設保守委託事業	13,264

(1 事業目的・内容)

市営地下鉄車両基地に設置されている除害施設(廃液処理装置)であり、工場内排水を横浜市下水道条例の水質基準に適合させるとともに、当該施設の機能維持を十分に発揮させるため保守点検を行います。

委託件名	設置場所
除害施設保守点検業務委託	上永谷車両基地(修繕工場、検車区)、新羽車両基地(検車区)
除害施設廃液水槽清掃業務委託	上永谷、新羽車両基地
除害施設等汚泥処分業務委託	上永谷、新羽車両基地

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
設7 風水害対策設備保守委託事業	[Redacted]

(1 事業目的・内容)

ブルーライン各駅等に設置している特殊設備ほかその他設備を整備心得・要領及び関係法令・規則・条例等に従い保守点検を行い、各設備の機能を常に良好な状態に維持します。

保守点検内訳

	設備数	主な設備及び点検周期
浸水防止機	44か所	上大岡から吉野町間通風口 年1回
鶴見川防水扉	2か所	新横浜から北新横浜間4門 年2回
気象観測装置	4か所	地震計、風向風速計、雨量計 年1回

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
浸水防止機			契約		
鶴見川防水扉	契約			契約予定	
気象観測装置		契約			契約予定

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

・横浜市高速鉄道運転取扱規程(防水扉、気象観測装置、浸水防止機)

(4 年次表)

	2年度予算	3年度予算	4年度予定	5年度予定	6年度以降	総 額
事業費	24,697	[Redacted]	6,998	7,097	[Redacted]	[Redacted]
債務負担設定	3,960	[Redacted]	5,406	3,960	[Redacted]	[Redacted]

令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：10 線路保存費 節・細節：33 建物修繕費	所属：建築課 担当者：倉本、大熊、横田、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
設8 修繕作業費	84,252

(1 事業目的・内容)

ブルーライン各駅等に設置しているポンプ類や空調機の故障、またお客さまトイレ等で発生した排水詰りを迅速に解消するための修繕作業を実施し、サービスの低下を最低限に防止します。

\* 主な修繕内容

- ・ 空調機関係：電装部品類、Vベルト、パッキン等の磨耗部材の交換
- ・ 送風機関係：Vベルト、ベアリング等の磨耗部材の交換
- ・ 給排水関係：お客さまトイレ便器等の排水詰まりの復旧・衛生器具の交換

各年度実績表

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
76,458	103,385	83,690	84,252

※実績 ※実績 ※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
設9 防災設備改修工事	[Redacted]

(1 事業目的・内容)

駅には、各所で発生した火災の延焼を防止するための防火区画が設定されています。その防火区画壁または床を貫通する換気等のダクトには、防火ダンパーを設置することが法令上規定されています。防火ダンパーの多くは、開業当初から設置されているもので定期点検時に調整や応急措置を行ってきましたが、著しい錆の発生が見られ、ダンパー軸が固着している箇所や完全な遮閉ができない箇所があります。修理では機能回復が困難なため、本体の更新を行い、万一の火災発生時に延焼の拡大にならないよう安全を確保します。また、概算修理契約により不良個所のすみやかな修理対応を行います。

防火ダンパー更新計画

駅名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
中田駅(13)	設計	工事			
踊場駅(19)					
片倉町駅(10)					
あざみ野駅(43)	設計			工事	
岸根公園駅(41)					
三ツ沢下町駅(13)					
横浜駅(15)		設計			
高島町駅(30)					
新横浜中間(18)					
下飯田駅(1)・立場駅(18)	設計		設計		工事
設計費	2,498	3,957	5,676	0	
工事費	54,147	55,398	0		
計	56,645	59,355	5,676		

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	2年度予算	3年度予算	4年度予定	5年度予定	6年度以降	総 額
事業費	80,953					
債務負担設定						

令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 33 建物修繕費	所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、横田、武藤

(単位:千円)

	3年度 A	2年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	158,525	188,953	△ 30,428

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	3年度予算額																		
<b>建1 材料補充事業(営繕分)</b>	221																		
(1 事業目的・内容)																			
<p>グリーンラインでの直営作業による修理に必要な作業用具・材料の補充をし、機械設備及び建築施設等の機能を維持します</p> <p>【主な補充材料】 蓄光誘導標識修理・鉄部補修用ペンキ類・粘着剥離剤・トイレブース部品等。</p>																			
<table border="1"> <tr> <td>平成28年度</td> <td>平成29年度</td> <td>平成30年度</td> <td>令和元年度</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">243</td> <td style="text-align: center;">264</td> <td style="text-align: center;">288</td> <td style="text-align: center;">74</td> <td style="text-align: center;">245</td> <td style="text-align: center;">221</td> </tr> <tr> <td>※実績</td> <td>※実績</td> <td>※実績</td> <td>※実績</td> <td>※決算見込</td> <td></td> </tr> </table>		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	243	264	288	74	245	221	※実績	※実績	※実績	※実績	※決算見込	
平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度														
243	264	288	74	245	221														
※実績	※実績	※実績	※実績	※決算見込															
(2 前年度から変更・見直した点)																			
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)																			

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	3年度予算額															
<b>設1 材料補充事業(機械分)</b>	208															
(1 事業目的・内容)																
<p>グリーンライン駅・車両基地等で発生した設備故障に対し、迅速な復旧作業を行うための直営修理に必要な設備材料を補充し、各設備の機能を回復し、お客様サービスの低下を防止します。</p> <p>※購入機材:お客様トイレ用衛生器具類・送風機用Vベルト・制御用電気部品等</p>																
<p>各年度実績表</p> <table border="1"> <tr> <td>平成29年度</td> <td>平成30年度</td> <td>令和元年度</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">367</td> <td style="text-align: center;">189</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">273</td> <td style="text-align: center;">208</td> </tr> <tr> <td>※実績</td> <td>※実績</td> <td>※実績</td> <td>※決算見込</td> <td></td> </tr> </table>		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	367	189	0	273	208	※実績	※実績	※実績	※決算見込	
平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度												
367	189	0	273	208												
※実績	※実績	※実績	※決算見込													
(2 前年度から変更・見直した点)																
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)																

令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、横田、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
建1 駅施設等建築修繕工事	9,341

(1 事業目的・内容)

【駅施設等建築修繕工事(ゼロ市工事)】

グリーンライン地下鉄各施設(10駅・3変電所・1車両基地)で発生する突発的な故障の緊急修理を行います。

H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
4,411	4,406	3,601	4,911	
※実績	※実績	※実績	※決裁見込	

【駅施設等修理(1件修理)】

グリーンライン地下鉄各施設(10駅・3変電所・1車両基地)で発生する工事発注未済の小規模な修理を行います。

H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
6,123	4,204	220	3,341	
※実績	※実績	※実績	※決算見込	

【駅評価対応】

各駅ごとに修繕が必要な案件を挙げてもらい、随時修理を行います。

R1年度	R2年度	R3年度
552	1,113	
※予算	※決算見込	

項 目	R3年度
駅施設建築修繕工事	
駅施設等修理(1件修理)	
駅評価対応修理	
計	9,341

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	2年度予算	3年度予算	4年度予定	5年度予定	6年度以降	総 額
事業費	10,323	9,341				
債務負担設定	10,323					

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
建2 サイン等製作及び設置業務委託	

(1 事業目的・内容)

駅構内の案内サインについて、旅客サービス維持を目的とし、記載内容の変更や不良箇所の貼り替え等に速やかに対応するため、案内サインの製作、貼付用の業務委託を行います。

(千円)

	R2	R3
BL	1,075	
GL	537	
計	1,612	
	※決算見込	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## 令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 建築課	
節・細節: 33 建物修繕費			担当者: 倉本、大熊、横田、武藤	

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
建3 漏水受樋取付工事	

## (1 事業目的・内容)

地下鉄や地上高架下部等では、土木躯体より漏水が発生し、接客障害や重要機器類の故障など営業事故に繋がる恐れがあることから、緊急対応として漏水受樋の取付工事を実施するものです。年度当初に予定数量及び単価を定めた契約を行います。

(参考)実績の推移と令和2年度予算要求額

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
11,113	4,557	5,854	
※実績	※実績	※決算見込	

## (2 前年度から変更・見直した点)

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## (4 年次表)

	2年度予算	3年度予算	4年度予定	5年度予定	6年度以降	総 額
事業費	6,907					
債務負担設定						

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
建4 縦排水管清掃業務委託	

## (1 事業目的・内容)

グリーンライン地下鉄各施設には、土木構築からの漏水やその他排水(湧水等)を処理するための縦排水管が設置されていますが、当該排水の水質や異物等により管の閉塞が進行した場合、駅施設への漏水等の原因となるだけでなく、溜まり水による異臭・蚊等が発生し、お客様や駅設備に対し影響を及ぼします。このため、本委託業務では、特殊清掃機具等を使用した管の詰まり除去や、側溝等の清掃を行うことで、適切な駅排水機能を維持し、お客様や駅施設への障害の低減を図ります。

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
771	1,223	1,648	
※実績	※実績	※決算見込	

## (2 前年度から変更・見直した点)

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、横田、武藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	3年度予算額
建5 駅施設等屋根清掃業務委託	

(1 事業目的・内容)

本業務は、通常点検を行えない変電所、基地等の地下鉄施設や地上部駅舎、各駅出入口等の屋上部について清掃を行うものです。この清掃において、当該部分の排水溝等の塵埃・枯葉・ゴミ等を除去することで、建物屋上部の防水機能の保全が図れるだけでなく、排水障害に起因する重要施設内部や接客部分への漏水を軽減し、地下鉄設備の保護や駅機能の確保を図ります。

[委託内容]

- ・屋上部、屋根部清掃
- ・屋上部、屋根部除草
- ・除草部薬剤散布
- ・ゴミ等運搬

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
96	36	173	
※実績	※実績	※決算見込	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	3年度予算額
建6 駅施設シャッター等保守点検業務委託	

(1 事業目的・内容)

グリーンライン各施設(8駅・1変電所・1車両基地)の防災シャッター・防火戸・電動トップライト・排煙窓等は、法令により、特に正常な動作が必要とされており、これらの故障を未然に防ぐ目的から定期的な保守点検を委託により実施します。また、当該出入口に設置されている管理シャッターについても、施設開放・閉鎖機能を保持する必要があるため、同様の点検を実施します。

○数量内訳

項 目	点検回数	令和3年度予定数量
シャッター	年1回	115か所
電動トップライト	年1回	0か所
防火戸	年1回	21か所
垂れ壁	年1回	12か所
排煙オペレーター	年1回	14か所

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## 令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 節・細節：33 建物修繕費	項：01 営業費用 目：10 線路保存費 所属：建築課 担当者：倉本、大熊、横田、武藤

(単位：千円)

【事業内容】	3年度予算額
建7 自動ドア保守点検業務委託	759

(1 事業目的・内容)

グリーンライン10施設24か所の自動ドアについて、正常な動作を確保し、お客様の挟み込みや閉じ込め等のトラブルを未然に防ぐため、保守点検の委託を行います。

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
679	678	696	759

※実績

※実績

※決算見込み

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(単位：千円)

【事業内容】	3年度予算額
建8 駅施設シャッター等修理	546

(1 事業目的・内容)

グリーンライン地下鉄各施設(10駅・3変電所・1車両基地)のうち駅施設の出入口管理シャッター・潜り戸・電動トップライト排煙窓等の定期点検結果に基づき、不具合箇所を修理します。

H28	H29	H30	R1	R2	R3
497	441	699	91	546	546

※実績

※実績

※実績

※実績

※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(単位：千円)

【事業内容】	3年度予算額
建9 自動ドア修理	66

(1 事業目的・内容)

グリーンライン10施設24か所の自動ドアの定期点検結果に基づき、不具合箇所を修理します。

H28	H29	H30	R1	R2	R3
65	44	87	1,315	66	66

※実績

※実績

※実績

※実績

※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、横田、武藤

(単位:千円)

【 事業内容 】	3年度予算額
建10 交通局施設保守管理業務委託	

(1 事業目的・内容)

グリーンライン地下鉄各施設(10駅・1車両基地)で発生する突発的な緊急を要する設備故障、漏水等が発生した場合に迅速に処置を行うため、365日24時間体制でコールセンター業務(電話対応及び現地での一次対応)を行います。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(単位:千円)

【 事業内容 】	3年度予算額
設1 昇降機保守委託事業	

(1 事業目的・内容)

グリーンライン各駅等に設置しているエレベーター・エスカレーターを整備要領及び関係法令・規則・条例等に従い保守点検を行い、昇降機の機能を常に良好な状態に維持します。  
なお、昇降機保守点検は、故障発生の際にも即日復旧対応を可能とするフルメンテナンス契約(定期点検のほか補修・緊急対応を含む)とし、お客様へのご不便を軽減させます。

○内訳

エレベーター		エスカレーター	
項目	台数	項目	台数
GL10駅エレベーター点検保守	21	GL10駅エスカレーター点検保守・清掃	46
合計	21	合計	46

○契約年表

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
新羽駅ほか22駅	3年契約			3年契約		3年契約

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	2年度予算	3年度予算	4年度予定	5年度予定	6年度以降	総 額
事業費	79,110					
債務負担設定	196,114					

## 令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 33 建物修繕費	所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、横田、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
設2 排水槽その他清掃業務委託	

## (1 事業目的・内容)

グリーンライン各駅等に設置している排水槽・汚水槽・受水槽・中水槽・浄化槽を整備心得・要領及び関係法令・規則・条例等に  
従い槽清掃及び保守点検を行い、槽の衛生的環境を良好な状態に維持します。

## 内訳

委託件名	設備数	清掃回数
排水槽清掃その他清掃業務委託	10か所	汚水槽清掃 10か所(1回/年)
受水槽清掃業務委託	-	なし
浄化槽維持管理委託	-	なし

## (2 前年度から変更・見直した点)

汚水槽引き抜き清掃回数増: 日吉駅(4)、中山駅第1(4)

汚水槽引き抜き清掃8回追加

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

汚水槽:「建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行規則の一部を改正する省令の施行について」

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
設3 高速鉄道機械設備等保守委託事業	9,574

## (1 事業目的・内容)

グリーンライン各駅等に設置している換気・空調設備、給排水給湯等について、定期保守点検を実施し、各設備の機能を  
常に良好かつ適法な状態に維持管理します。

## ○内訳

設備種別	か所数	主な設備及び点検周期
空調設備	11か所	居室系 年2～4回 券売機室系 年4回 駅冷房 年2回+冷凍機運転監視
換気設備	11か所	排気送風機 年2～3回、フィルター 年1回
給排水・給湯設備	9か所	電気温水器、排水ポンプ 年1～2回

## (2 前年度から変更・見直した点)

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## 令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、横田、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
設4 防災設備保守委託事業	

(1 事業目的・内容)

グリーンライン各駅等に設置している屋内消火栓・スプリンクラー・排煙等を整備心得・要領及び関係法令・規則・条例等に従い保守点検を行い、防災設備の機能を常に良好な状態を保ち、万一の火災が発生した場合、確実に作動するよう維持します。

○内訳

	設置場所	主な設備及び点検周期
防災設備	9か所	屋内外消火栓、スプリンクラー、連結送水管、 消火器、粉末消火、排煙 年2回 各種放水試験 年1回 連結送水管耐圧試験 3年検査

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
設5 排水ポンプほか重要設備保守委託事業	

(1 事業目的・内容)

グリーンライン各駅及び車両基地に設置している、トンネル排水設備や信号機器室空調機等、列車運行に支障する恐れのある重要設備の機能を常時良好な状態に維持管理し、地下鉄の定時運行を確保します。

○内訳

設備種別	設備数	主な設備及び点検周期
重要設備	11か所	トンネル排水・汚水・雑排水ポンプ 年2回、月1回 信号機器室系空調機 年4回

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

・厚生労働省令「建築物における衛生的環境の維持管理について」

## 令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、横田、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
設6 除害施設保守委託事業	3,683

(1 事業目的・内容)

市営地下鉄車両基地に設置されている除害施設(廃液処理装置)であり、工場内排水を横浜市下水道条例の水質基準に適合させるとともに、当該施設の機能維持を十分に発揮させるため保守点検を行います。

委託件名	設置場所
除害施設保守点検業務委託	川和車両基地(検修区)
除害施設廃液水槽清掃業務委託	川和車両基地
除害施設等污泥処分業務委託	川和車両基地

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
設7 風水害対策設備保守委託事業	864

(1 事業目的・内容)

グリーンライン各駅等に設置している特殊設備ほかその他設備を整備心得・要領及び関係法令・規則・条例等に準い保守点検を行い、各設備の機能を常に良好な状態に維持します。

内訳

	設備数	主な設備及び点検周期
気象観測装置	1か所	地震計、風向風速計、雨量計 年1回

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

・横浜市高速鉄道運転取扱規程(気象観測装置)

令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、大熊、横田、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
設8 修繕作業費	20,735

(1 事業目的・内容)

グリーンライン各駅等に設置しているポンプ類や空調機の故障、またお客さまトイレ等で発生した排水詰りを迅速に解消するための修繕作業を実施し、サービスの低下を最低限に防止します。

\* 主な修繕内容

- ・ 空調機関係:電装部品類、Vベルト、パッキン等の磨耗部材の交換
- ・ 送風機関係:Vベルト、ベアリング等の磨耗部材の交換
- ・ 給排水関係:お客さまトイレ便器等の排水詰まりの復旧・衛生器具の交換

各年度実績表

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
19,755	22,875	22,977	20,735

※実績 ※実績 ※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
設9 防災設備改修工事	XXXXXXXXXX

(1 事業目的・内容)

駅には、各所で発生した火災の延焼を防止するための防火区画が設定されています。その防火区画壁または床を貫通する換気等のダクトには、防火ダンパーを設置することが法令上規定されています。防火ダンパーの多くは、開業当初から設置されているもので定期点検時に調整や応急措置を行ってきましたが、著しい錆の発生が見られ、ダンパー軸が固着している箇所や完全な遮閉ができない箇所があります。概算修理契約により不良個所のすみやかな修理対応を行い安全を確保します。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 節・細節：33 建物修繕費	項：01 営業費用 目：10 線路保存費 所属：建築課 担当者：倉本、大熊、横田、武藤

(単位：千円)

【事業内容】	3年度予算額
設10 空調熱源機器分解整備	

(1 事業目的・内容)

グリーンライン駅及び車両基地に設置している、駅冷房用及び職員諸室空調用大型熱源機の分解整備を計画的に実施し、故障防止を図ることで、夏季冷房シーズンなどの駅環境及び執務環境を維持します。

熱源機器は、ターボ冷凍機、冷温水発生機、チリングユニットを軸として、冷却塔・循環ポンプ・ファンコイルユニット等で設備構成しています。供用開始または分解整備後から運転時間を経過した大型熱源機は、日常点検で確認ができない機器内部に摩耗や汚れ等の劣化が進み、運転性能の低下を招くため、定期的な本体分解整備が不可欠です。製造メーカーが推奨する分解整備の時期(7年)を超えており、大型熱源機に突発的な故障が発生した場合、ホーム等駅冷房部や駅務諸室などに多大な影響を及ぼし、お客さまサービスの低下や職員の執務環境の低下を招きます。このため、運転時間を経過した熱源機器類の分解整備を順次行います。

(1) ターボ冷凍機・冷温水発生機 分解整備

実施年度	2年度	3年度	4年度
場所・機器名	-	-	-

(2) チリングユニット 分解整備

実施年度	2年度	3年度	4年度
場所・機器名	-	中山(駅冷房用)※H20年度設置	-
	-	空冷チラー1台	-

(3) 熱源機付帯設備 分解整備

実施年度	2年度	3年度	4年度
場所・機器名	-	-	日吉(駅冷房用)※H20年度設置
	-	-	補給水ポンプユニット・空調用膨張タンク

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## 令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 上永谷保守管理所	
節・細節: 39 その他修繕費			担当者: 平塚、坪井	

(単位: 千円)

	3年度 A	2年度 B	増△減(A-B)
予 算 額		271	

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

(単位: 千円)

【 事 業 内 容 】	3年度予算額
1 上永谷施設区庁用車 材料費	30
(1 事業目的・内容)	
<p>庁用車の部品を購入する費用。</p>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	

## 令和3年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 上永谷保守管理所	担当者: 平塚、坪井
節・細節: 39 その他修繕費				

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
<b>2 上永谷施設区庁用車 車検・法定点検</b>	
(1 事業目的・内容)  応急車及び庁用車の法令に基づく車両検査を行うものです。 ・国土交通省令に基づく点検 車検及び法定点検 2台(応急車1台・庁用車1台)	
(2 前年度から変更・見直した点)  23年を経過する庁用車を車検期限の令和3年10月廃車予定。	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	

## 令和3年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 39 その他修繕費	所属: 上永谷保守管理所 担当者: 平塚、坪井

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
<b>3 上永谷施設区庁用車 修理費</b>	50
(1 事業目的・内容)  庁用車を修理する費用。	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	

## 令和3年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 39 その他修繕費	所属: 新羽保守管理所 担当者: 本間 匠

(単位: 千円)

	3年度 A	2年度 B	増△減(A-B)
予算額	1,293	1,249	44

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

(単位: 千円)

【事業内容】	3年度予算額
1 自動車整備 部品材料施設区	30
(1 事業目的・内容) 緊急の自動車整備に必要な部品・材料を購入するための新羽保守管理所長に前渡する資金。	
(2 前年度から変更・見直した点) なし	
(3 根拠法令・規程、「現場の意見」等) 前渡資金があれば、速やかに部品・材料を購入し修繕作業を行える。	

令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 新羽保守管理所 担当者: 本間 匠

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	3年度予算額																																				
2 自動車点検整備 施設区	624																																				
(1 事業目的・内容)																																					
<p>応急車の法令に基づく車両検査を行うものです。 国土交通省令に基づく点検</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>車 名</th> <th>車検周期</th> <th>6ヶ月点検</th> <th>12ヶ月点検</th> <th>車検</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エキスパート 400せ3518</td> <td>1年</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>キャラバン 800つ19</td> <td>1年</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高所作業車 800そ5798</td> <td>2年</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高所作業車クレーン部 デュトロ</td> <td>毎年</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">合 計</td> <td></td> <td style="text-align: center;">624</td> </tr> </tbody> </table>		車 名	車検周期	6ヶ月点検	12ヶ月点検	車検	計	エキスパート 400せ3518	1年					キャラバン 800つ19	1年					高所作業車 800そ5798	2年					高所作業車クレーン部 デュトロ	毎年					合 計					624
車 名	車検周期	6ヶ月点検	12ヶ月点検	車検	計																																
エキスパート 400せ3518	1年																																				
キャラバン 800つ19	1年																																				
高所作業車 800そ5798	2年																																				
高所作業車クレーン部 デュトロ	毎年																																				
合 計					624																																
(2 前年度から変更・見直した点)																																					
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)																																					

## 令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 新羽保守管理所	
節・細節: 39 その他修繕費			担当者: 本間 匠	

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	3年度予算額						
3 自動車修理 施設区	50						
(1 事業目的・内容)							
<table border="1"><thead><tr><th>自動車修理</th><th></th><th>計</th></tr></thead><tbody><tr><td>自動車修理</td><td>随時</td><td>50</td></tr></tbody></table>		自動車修理		計	自動車修理	随時	50
自動車修理		計					
自動車修理	随時	50					
(2 前年度から変更・見直した点)							
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)							

## 令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 新羽保守管理所 担当者: 本間 匠

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	3年度予算額
4 ミニ地下鉄修理施設区	48

(1 事業目的・内容)

ミニ地下鉄修理	計
ミニ地下鉄修理 随時	48

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 新羽保守管理所 担当者: 本間 匠

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	3年度予算額
5 自動車点検整備設備区	366

(1 事業目的・内容)

応急車の法令に基づく車両検査を行うものです。

国土交通省令に基づく点検

車 名	車検周期	6ヶ月点検	12ヶ月点検	車検	計
エブリィ 480て9602	2年				
キャラバン 400ふ4335	1年				
ボンゴ 400ほ1572	1年				
合 計					366

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## 令和3年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 39 その他修繕費	所属: 新羽保守管理所 担当者: 本間 匠

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額						
6 自動車修理 設備区	80						
(1 事業目的・内容)							
<table border="1"><thead><tr><th>自動車修理</th><th></th><th>計</th></tr></thead><tbody><tr><td>自動車修理</td><td>随時</td><td>80</td></tr></tbody></table>		自動車修理		計	自動車修理	随時	80
自動車修理		計					
自動車修理	随時	80					
(2 前年度から変更・見直した点)							
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)							

## 令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 新羽保守管理所 担当者: 本間 匠

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
7 機器類修理 設備区	95

(1 事業目的・内容)

機器類修理		計
酸素欠乏等の危険個所測定器の校正	随時	95

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## 令和3年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 39 その他修繕費	所属: 川和保守管理所 担当者: 今野・阿部

(単位: 千円)

	3年度 A	2年度 B	増△減(A-B)
予算額	530	570	△ 40

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

(単位: 千円)

【事業内容】	3年度予算額
1 その他修繕 部品材料	30
(1 事業目的・内容) 緊急のその他修繕に必要な部品・材料を購入するための小額物品費	
(2 前年度から変更・見直した点) なし	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	

## 令和3年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 39 その他修繕費	所属: 川和保守管理所 担当者: 今野、阿部

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
<b>2 自動車点検整備・修理</b>	500
(1 事業目的・内容)  庁用車について、法令に基づく車両検査や法定点検の実施及び故障修理に必要な費用 非常用発煙筒の更新とタイヤ交換 保有庁用車 ・アトラス(800そ7025) ・エブリイ(480そ707) ・キャラバン(400み1270)	
(2 前年度から変更・見直した点) なし	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	

## 令和3年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 39 その他修繕費	所属: 施設課 担当者: 内田 山田

(単位:千円)

	3年度 A	2年度 B	増△減(A-B)
予算額	58,754	80,393	△ 21,639

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
1 材料補充	110
(1 事業目的・内容)	
<p>緊急で必要になった材料の購入、及び修理費用</p>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	

## 令和3年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 施設課
節・細節: 39 その他修繕費			担当者: 内田 山田

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
2 自動車点検整備等	574
(1 事業目的・内容)	
フォークリフト等の法定点検及び緊急修理を行うものです。 ・厚生労働省令に基づく点検 特定自主点検 フォークリフト 2台 ・フォークリフトの緊急修理費	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	

令和3年度 修繕費 事業計画書

款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	予算科目 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費	担当 所属: 施設課 担当者: 内田 山田
----------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
3 工車用車両点検	56,007

(1 事業目的・内容)

- 工車用車両の性能低下等は、重大な事故の原因となるほか、運転阻害を発生させる原因となるため、点検整備を行います。
- ・工車用車両分解整備(オーバーホール):原則6年周期
  - ・工車用車両年次点検整備(乙検):年1回
  - ・工車用車両ブレーキ調整:制輪子のストロークが規定値以下に摩耗後、随時交換
  - ・工車用車両修理:突発的な故障時の修理に対応
  - ・工車用車両クレーン自主点検:C型モーターカーのクレーンの自主点検
- 積算(単価及び数量は実績による)
- オーバーホールは以下の予定表に従い行う。

OH:オーバーホール(分解整備)数字はその車両のオーバーホールの通算回数

種別	型番	R3までの使用年数	R2	R3	R4	R5	R6
モーターカー A型	A-6	30年					
	A-7	30年					
	A-8	30年					
	A-10	-年		納車予定			
モーターカー C型	C-5	15年				OH3	
	C-7	11年			OH2		
	C-8	10年	OH1				
	C-9	9年					OH2
	C-10	5年			OH1		
	C-11	5年		OH1			
	C-12	1年					
作業台車	No.7	11年					
	No.8	9年					
	No.9	6年					
	No.10	5年					
	No.11	3年					
	No.12	3年					
軌道清掃車(温水洗浄)	No.3	1年	納車予定				
	No.3	4年					
	D-10,11,12	24年					
	TR-4,5,6	7年					
	B-Track	8年	OH1				
	ブラッサー	6年				OH2	

(2 前年度から変更・見直した点)

軌道清掃車(超高压)は今年度廃棄のため、削除いたしました。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	2年度予算	3年度予算	4年度予定	5年度予定	6年度以降	総額
事業費	79,586	56,007				
債務負担設定						

## 令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目		担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費	所属: 施設課 担当者: 内田 山田

【事業内容】	(単位:千円) 3年度予算額
<b>4 その他機器点検整備等</b>	196
(1 事業目的・内容)  直営作業等で使用する測量機器や計測機器類の点検、校正費用 水準測定器、列車動揺測定器、自動塗油装置点検整備	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	

## 令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目		担 当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費
節・細節: 39 その他修繕費		所属: 施設課 担当者: 越後屋・岩下

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
5 上永谷車両基地侵入防止対策システムに係るシステム保守業務委託	

## (1) 事業目的・内容

上永谷車両基地では、令和元年度から同2年度にかけ「車両基地侵入防止対策システム」を構築し、運用しています。しかし、カメラが撮影できない、映像アプライアンスサーバーが録画できないといった、本システムに異常が生じた場合の緊急対応策が未整備でした。したがって、本システムに動作不良が発生した場合の一次切り分け対応、ソフトウェアのバージョンアップに伴う本システムへの反映、また、修理完了後のシステム機器の再設定等といった、「システム保守業務」の委託を施行します。

委託の主な内容は、以下のとおりです。

- (1) 本システム関連の問合せ対応  
当局担当者から本システムに関する仕様や不具合等に関する問合せがあった場合、受託者は電話、メール等で回答します。
- (2) 障害一次切り分け  
本システムに動作不良が生じた場合、受託者は、何が原因であるのか、障害の一次切り分けを行います。
- (3) ソフトウェア動作不良対応  
ソフトウェア等に問題があることが分かった場合、受託者は、オンサイト形式で、本システムを復旧します。
- (4) バージョンアップした各種ソフトウェアの本システムへの反映  
受託者は、本システムにインストール済みの各ソフトウェアのバージョンアップに伴い、改修プログラムのインストール作業、設定及び動作確認を行います。
- (5) ハードウェアの修理が必要な場合、受託者がその旨当局に通知します。ハードウェアの修理は当局の別途手配となりますが、修理完了後の機器の再設定作業は、受託者が実施します。

## (2) 前年度から変更・見直した点

新規の事業です。

## (3) 根拠法令・規程、現場の意見等

本市総務局行政・情報マネジメント課による「情報システム調達の手引き(平成28年4月版)」

## 令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 施設課	
節・細節: 39 その他修繕費			担当者: 内田 山田	

(単位:千円)

	3年度 A	2年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	9,064	8,779	285

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	3年度予算額
1 材料補充	121
(1 事業目的・内容)	
<p>緊急で必要になった材料の購入、及び修理費用</p>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	

## 令和3年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 39 その他修繕費	所属: 施設課 担当者: 内田 山田

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
<b>2 自動車点検整備等</b>	260
(1 事業目的・内容)	
フォークリフト等の法定点検及び緊急修理を行うものです。 ・厚生労働省令に基づく点検 特定自主点検 フォークリフト 1台 ・フォークリフトの緊急修理費	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	

令和3年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 施設課 担当者: 内田 山田

(単位:千円)

【 事業内容 】	3年度予算額
3 工事用車両点検	6,730

(1 事業目的・内容)

工事用車両の性能低下等は、重大な事故の原因となるほか、運転阻害を発生させる原因となるため、点検整備を行います。

- ・工事用車両分解整備(オーバーホール):原則6年周期
- ・工事用車両年次点検整備(乙検):年1回
- ・工事用車両ブレーキ調整:制輪子のストロークが規定値以下に摩耗後、随時交換
- ・工事用車両修理:突発的な故障時の修理に対応
- ・工事用車両クレーン自主点検:C型モーターカーのクレーンの自主点検

○積算(単価及び数量は実績による)

オーバーホールは以下の予定表に従い行う。

OH:オーバーホール(分解整備)数字はその車両のオーバーホールの通算回数

種別	型番	R3までの使用年数	R2	R3	R4	R5	R6
モーターカーA型	A-9	11 年				OH2	
モーターカーC型	C-6	15 年					OH3
作業台車	No.6	12 年					
軌道清掃車	No.1	13 年					OH2
軌道検測車	G-Track	13 年			OH2		

(2 前年度から変更・見直した点)

令和3年度の工事用車両分解整備(オーバーホール)は6年周期に満たないため、予算に計上しておりません。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	2年度予算	3年度予算	4年度予定	5年度予定	6年度以降	総 額
事業費	7,247	6,730				
債務負担設定						

令和3年度 修繕費 事業計画書

様式 E

款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費		予算科目 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費	担当 所属: 施設課 担当者: 内田 山田
----------------------------------	--	-----------------------------------	-----------------------------

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
4 その他機器点検整備等	1,953
(1 事業目的・内容) <p>直営作業等で使用する測量機器や計測機器類の点検、校正費用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水準測量器、列車動揺測定器、摩擦調整材塗布装置の点検</li> <li>・自動塗油装置点検整備</li> <li>・レール断面測定器の校正、修理</li> <li>・ギャップゲージ調整</li> </ul>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	













令和3年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費    項：01 営業費用 目：10 線路保存費	所属： 上永谷保守管理所 担当者名： 坪井、平塚

(単位:千円)

	3年度 A	2年度 B	増△減 A - B		
予算額	6,092	8,310	△ 2,218		○ ブルーライン グリーンライン 共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
42 油脂系屑費	742	MC燃料(軽油)、レール清掃車ボイラー燃料(灯油)、保守用ウエス ほか
45 自動車燃料費	372	緊急自動車・庁用車用ガソリン及び軽油(軽油引取税)
49 備用品費	1,122	共通・小額物品、テキスト代、作業用雑貨・新採用備品、雪害対策用備品等
51 光熱水費	1,318	ガス料金、上・下水道料金、灯油(雪害対策用)
56 旅費	163	市内・市外出張旅費、立会検査旅費
57 通信運搬費	250	電話料金、切手代
63 委託料	1,042	事務所清掃費、産業廃棄物処分費
64 手数料	160	各種技能・資格講習費、振込手数料、印紙代
65 賃借料	574	寝具賃借料、複写サービス
68 保険料	219	緊急自動車・庁用車任意保険料、自賠責保険料
73 自動車重量税	40	緊急自動車・庁用車自動車重量税
96 雑費	90	有料駐車場代
合 計	6,092	

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)



















令和3年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：10 線路保存費	所属：新横浜工事事務所 担当者名：吉本

(単位:千円)

	3年度 A	2年度 B	増△減 A - B	○ ブルーライン
予算額	16,338	5,994	10,344	グリーンライン 共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
49 備用品費	1,117	コピー用紙、書籍、事務用品等
51 光熱水費	386	電気代、水道代
56 旅費	691	出張旅費
57 通信運搬費	154	電話回線使用料
58 印刷製本費	131	印刷製本
61 会議費	14	ST線検討会議
63 委託料	6,365	複写サービス、事務所清掃等
64 手数料	184	Web建設物価使用料、講習会費等
65 賃借料	7,238	事務所賃借料等
68 保険料	58	火災保険、賠償責任保険
合 計	16,338	

(2 編成するにあたっての考え方)

令和2年度実績を参考に算出しました

(3 新規項目・主要事業等)